

平成 17 年 8 月 31 日

各 位

株式会社 近畿大阪銀行

「地域密着型金融推進計画」の策定について

りそなグループの近畿大阪銀行（代表取締役社長 水田 廣行）は、平成 17 年 3 月 29 日に金融庁より公表された「地域密着型金融の機能強化の推進に関するアクションプログラム（平成 17～18 年度）」に基づき、今般、中小企業金融の再生と地域経済の活性化を図るための各種の取組み策を定めた「地域密着型金融推進計画」を策定いたしました。

当社は、地域の皆さまと共に発展し、地域経済の活性化を図るべく、本計画に盛り込んだ施策を着実に実施してまいります。

以 上

# 「地域密着型金融推進計画」

平成17年8月  
近畿大阪銀行

## 目次

・ 「地域密着型金融推進計画」策定・公表にあたって	
1. 地域密着型金融とは	P 1
2. 当社における「地域密着型金融推進計画」の位置づけ	P 1
3. 計画の基本コンセプト	P 2
4. 計画に反映する戦略・課題等	P 3
5. 推進・公表体制	P 4
・ 「地域密着型金融推進計画」の概要	
1. 「地域密着型金融推進計画」の骨子	P 5
2. 目標とする主な経営指標（平成18年度）	P 5
3. 各取組みの概要	P 6～8
・ 「地域密着型金融推進計画」の具体的取組み	
1. 事業再生・中小企業金融の円滑化	P 9
2. 経営力の強化	P 10
3. 地域の利用者の利便性向上	P 11

# I.「地域密着型金融推進計画」策定・公表にあたって

## 1.地域密着型金融とは

地域密着型金融とは、金融機関が地域の皆さまとの長期的な取引関係により得られた情報を活用し、質の高いコミュニケーションを通じて、お客さまのニーズや経営状況等を的確に把握し、これにより金融機能を強化するとともに、自身の収益向上を図ることを本質とするものです。

## 2.当社における「地域密着型金融推進計画」の位置づけ

当社は、創業当初より大阪府下を営業基盤とする地域金融機関として「地域に存在感があり、お客さまから信頼される銀行」を目指し、また、りそなグループとして「大阪・埼玉・東京を中心とする地域・お客さまから最も支持されるコミュニティ・バンク・グループ」を将来ビジョンに掲げております。

一方、規制緩和やIT化の進展等に伴い、金融機関を取り巻く環境は大きく変化しており、お客さまのニーズもますます多様化・高度化しております。加えて、利用者の皆さまの利便性向上・保護ルール徹底に向けた社会的要請等が高まる中、これまで以上に地域のお客さまの目線に立った高品質の金融サービスの提供に努めるとともに、社会的責任・地域金融への貢献を通じた地域経済・産業と「共存共栄」こそが、地域金融機関の基本的使命であると考えております。

このような認識のもと、「地域密着型金融推進計画」は、まさに当社の目指す銀行像と方向性を同じくするものであり、当社の経営理念・ビジョン等を具現化し、地域金融機関として果すべき使命・責任を確実に実践していくための極めて重要な計画と位置づけ、経営の最優先テーマとして積極的に取り組んでまいります。

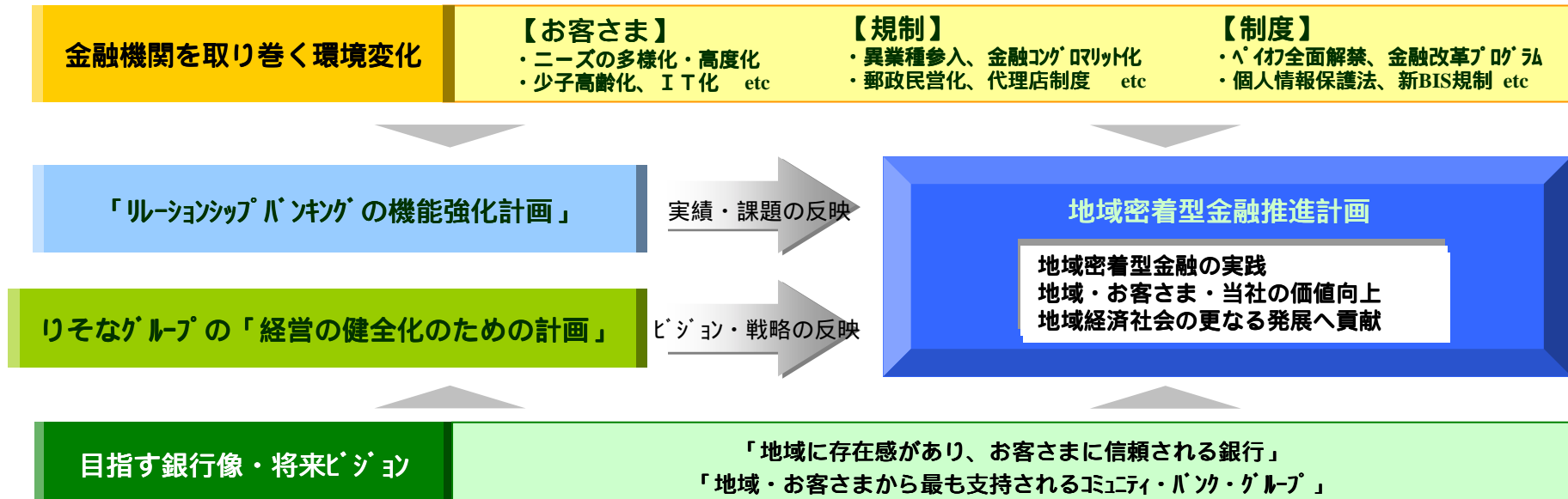
# I.「地域密着型金融推進計画」策定・公表にあたって

## 3.計画の基本コンセプト

当社「地域密着型金融推進計画」では、「リージョンシップバンクの機能強化計画」（平成15～16年度）の実績・課題を反映し、加えて、平成16年11月、りそなホールディングスより策定・公表しましたグループの『再生』から『飛躍』に向けた「経営の健全化のための計画」との整合性を確保し、地域金融機能強化への取組みの継続的な推進・進化、地域経済社会への一層の貢献を目指しております。

また、本計画期間（平成17～18年度）では、以下の3つの取組みを柱とし、地域・お客さま・当社の価値向上に取り組み、真に地域の皆さまから支持される金融サービスの提供に努めてまいります。

1. 事業再生・中小企業金融の円滑化
2. 経営力の強化
3. 地域の利用者の利便性向上



# I. 「地域密着型金融推進計画」策定・公表にあたって



## 4. 計画に反映する戦略・課題等

### 「リージョンシップバンク」の機能強化計画」の評価と課題

#### 【評価】

- 従来にはなかった産学官連携や外部関連機関とのネットワークを構築することで、創造・新事業支援の枠組みを整備
- 経営相談機能では、ビジネスマッチングの情報提供件数、成約件数ともに実績があがるなど定着化が進む
- 企業再生支援活動では、本部担当部署への増員など社内体制を強化、社内外の研修・通信講座への受講を奨励したことで、16年度より対象先を全社的に拡大

#### 【課題】

- 創造・新事業支援では、外部関連機関への紹介実績はあるものの、融資実行などの成果に繋がっていない取組みもあり、本部専門部署の主導による取組みから、現場営業店でのノウハウを高め、より裾野を広げた取組みが必要
- 取引先企業の再生に向けた取組みでは、再生ファンドの活用は定着化したが見、エグジット・ファイナンスやデット・デット・スワップの活用など、再生手法の多様化が必要
- お客さまへの説明態勢は、社内ルール等の整備は完了し、引き続き定着化に向けた研修等の強化、お客さまのご意見を採り入れたサービスの一層の向上が必要

#### 【主な取組み実績】

<平成15年度>

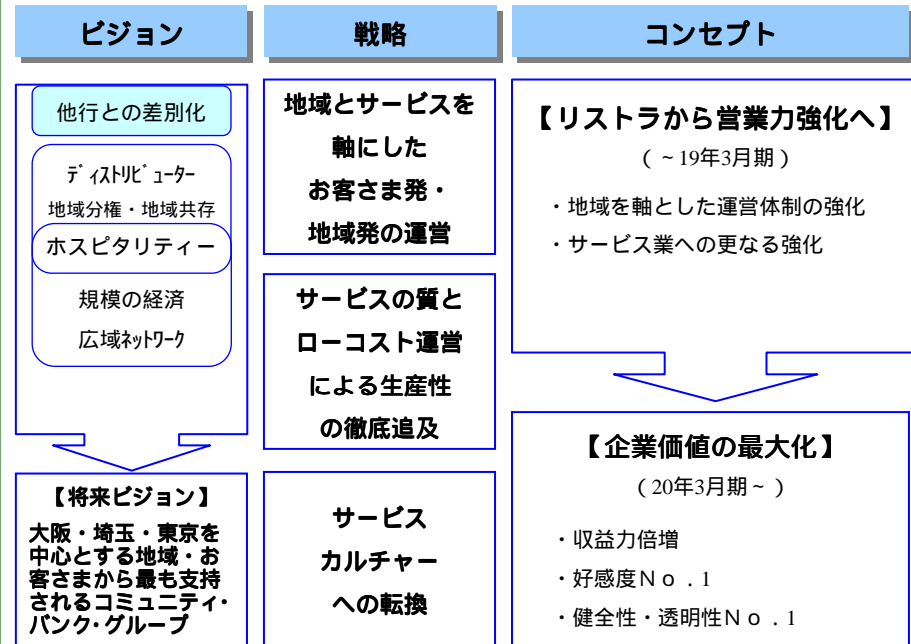
- ・(財)大阪産業振興機構、日本政策投資銀行など外部関連機関の連携
- ・信託機能を活用した中小企業再生ファンドの組成
- ・大阪市CLO・大阪市SBE私募債の推進、スコアリングモデル商品の導入

<平成16年度>

- ・企業再生支援の専担部署「企業サポート室」の設置
- ・大阪府立大学と産学官連携活動の基本協定書を締結
- ・近畿大阪ベンチャー育成ファンドの創設と活用
- ・銀行保証付私募債の取扱開始
- ・当社主催のビジネスマッチングフェアの開催

### 「経営の健全化のための計画」の経営戦略・経営指標

#### 【計画の全体像】



#### 【経営指標】

【グループ全体】 (単位:億円)

主要計数	17/3期実績	18/3期計画	19/3期計画
業務粗利益	7,097	6,730	6,920
実勢業務純益	3,652	3,000	3,280
税前当期利益	3,921	2,200	2,290
うち当社	363	160	167

18/3期は、17/5公表の業績予想値です。

# I.「地域密着型金融推進計画」策定・公表にあたって



## 5. 推進・公表体制

### (1). 推進体制

当社では、本計画を推進するにあたり、各取組み毎に明確にその推進責任部署を定めております。

計画における各種取組み施策については、各推進責任部署の業務施策等に織り込み、経営の管理・監督のもと、施策の進捗状況や具体的な成果・実績を管理し、全社的な共有化を図ってまいります。

また、「リレーションシップバンクの機能強化計画」において整備・強化を図った、りそなグループおよび外部機関等との連携による当社独自の推進体制を更に拡充するとともに、今後は、より地域と一体となった連携・推進体制の構築に努め、真に地域密着型金融の推進にふさわしい体制を確立したいと考えております。

### (2). 公表体制

本計画については、計画の進捗状況、その実績・成果、目標達成状況等を半年毎にとりまとめ、半年毎に公表してまいります。

当社では、りそなホールディングス コーポレート・コミュニケーション部と連携し、記者クラブへの資料配布、当社ホームページへの掲載、及びディスプレイ誌等への掲載・配布等を通じて、詳しく、かつ分かりやすく地域の皆さまに情報開示に努めてまいります。

## Ⅱ.「地域密着型金融推進計画」の概要

### 1.「地域密着型金融推進計画」の骨子

#### 地域密着型金融推進計画（平成17～18年度）

##### (1) 事業再生・中小企業金融の円滑化

創業・新事業支援機能等の強化  
取引先企業に対する経営相談・支援機能の強化  
事業再生に向けた積極的取組み  
担保・保証に過度に依存しない融資の推進等  
顧客説明態勢の整備、相談苦情処理機能の強化  
人材の育成

##### (2) 経営力の強化

リスク管理態勢の充実  
収益管理態勢の整備と収益力の向上  
ガバナンスの強化  
法令等遵守態勢の強化  
ITの戦略的活用

##### (3) 地域の利用者の利便性向上

地域貢献等に関する情報開示  
地域の利用者の満足度を重視した金融機関  
経営の確立  
地域再生推進のための各種施策との連携等

##### (4) 進捗状況の公表

進捗状況を半期毎に对外公表

### 2.目標とする主な経営指標

#### 地域金融の円滑化

担保・保証に依存  
しないスコアリング  
モデル商品の17年度  
実行額 150億円

15年度：169億円  
16年度：127億円

#### 収益力の向上

税引前当期利益  
17年度 160億円  
18年度 167億円

15年度：2,226億円  
16年度：363億円

#### 財務の健全性

不良債権比率18年度末  
4%台後半

15年度末：8.9%  
16年度末：6.6%

#### 事業再生

経営改善支援取組み先の  
ランクアップ率30%以上

15年4月～17年3月：  
26.8%

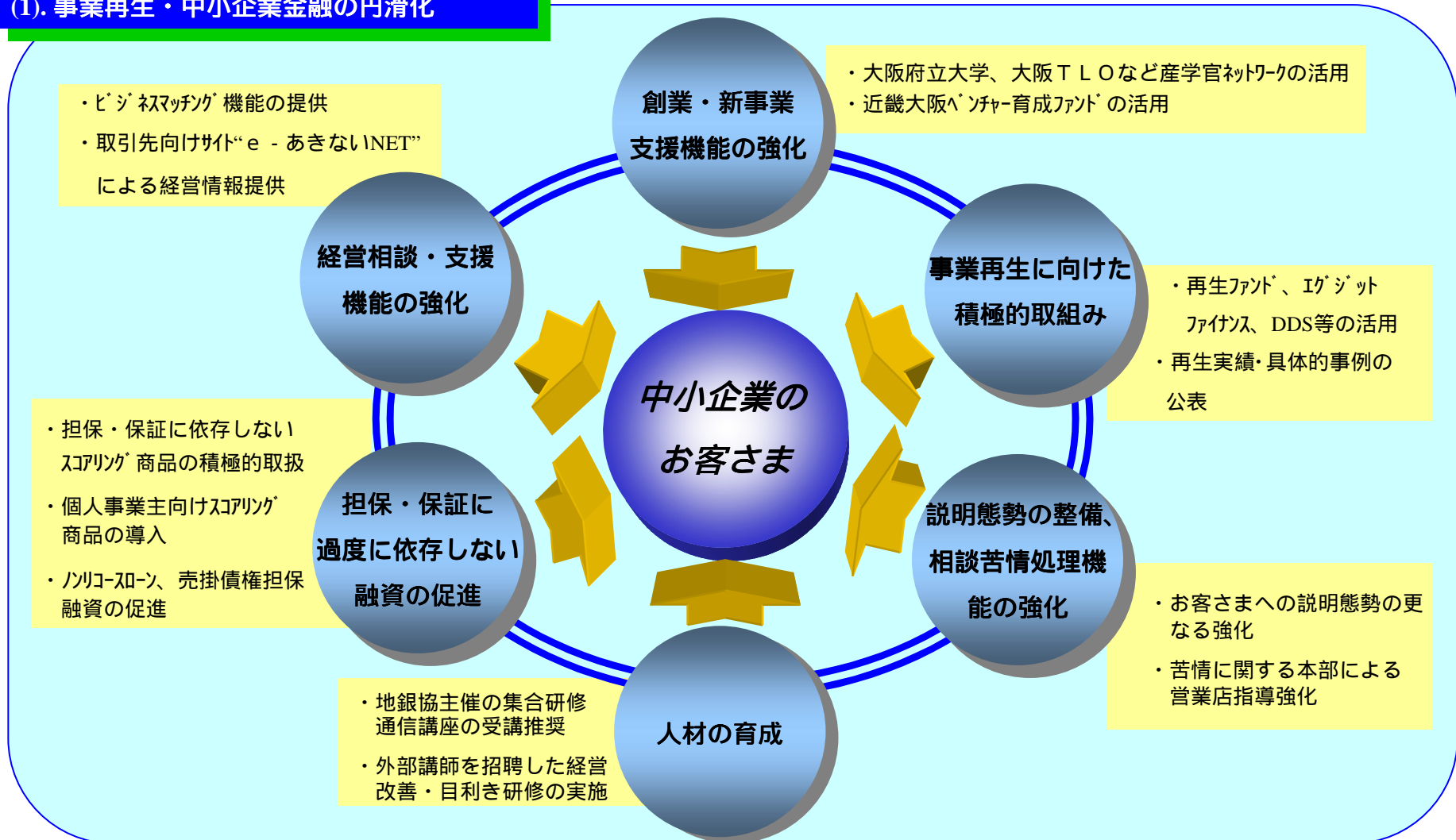
取組み先 425先  
ランクアップ先 114先



## Ⅱ.「地域密着型金融推進計画」の概要

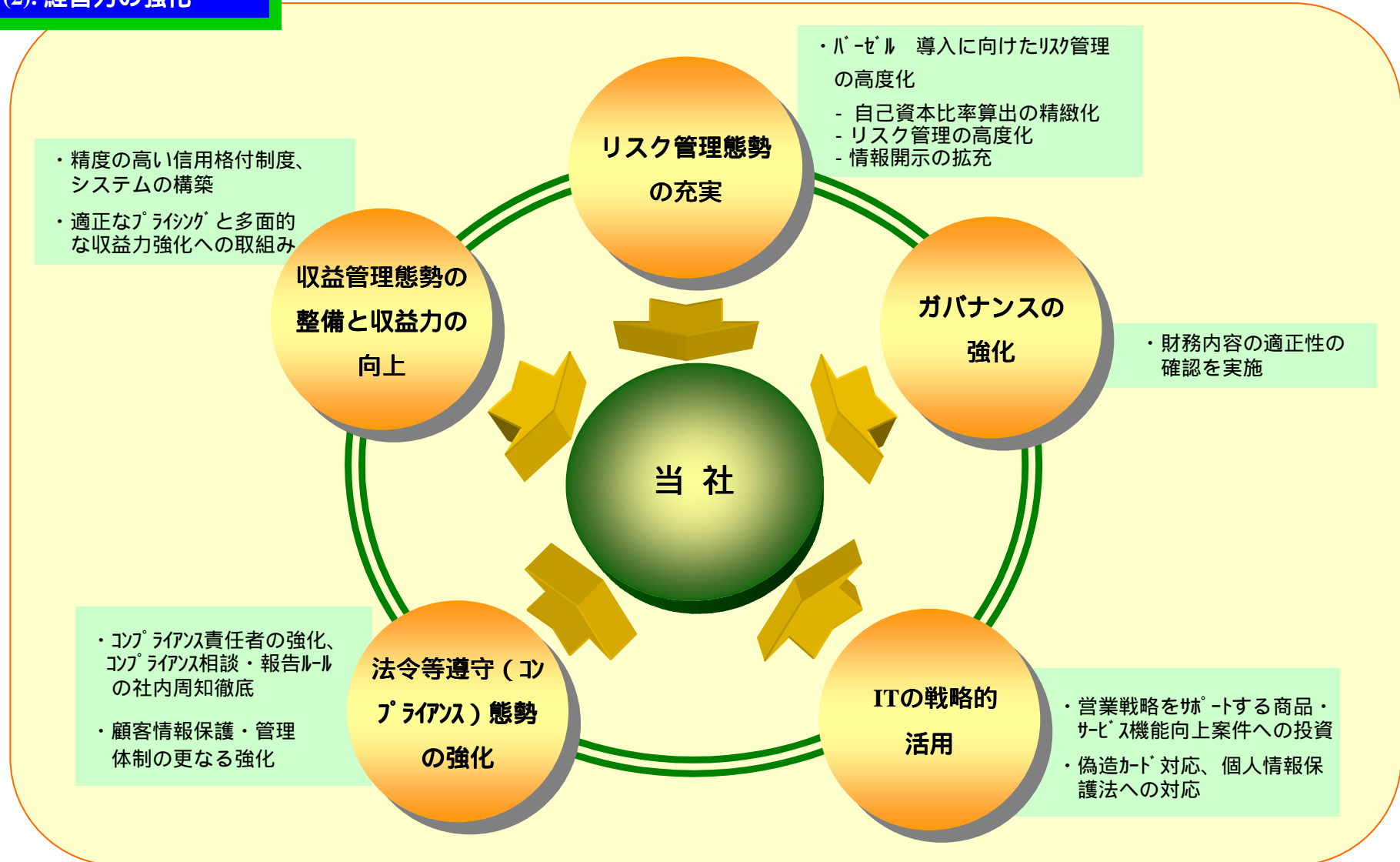
### 3.各取組みの概要

#### (1). 事業再生・中小企業金融の円滑化



## Ⅱ.「地域密着型金融推進計画」の概要

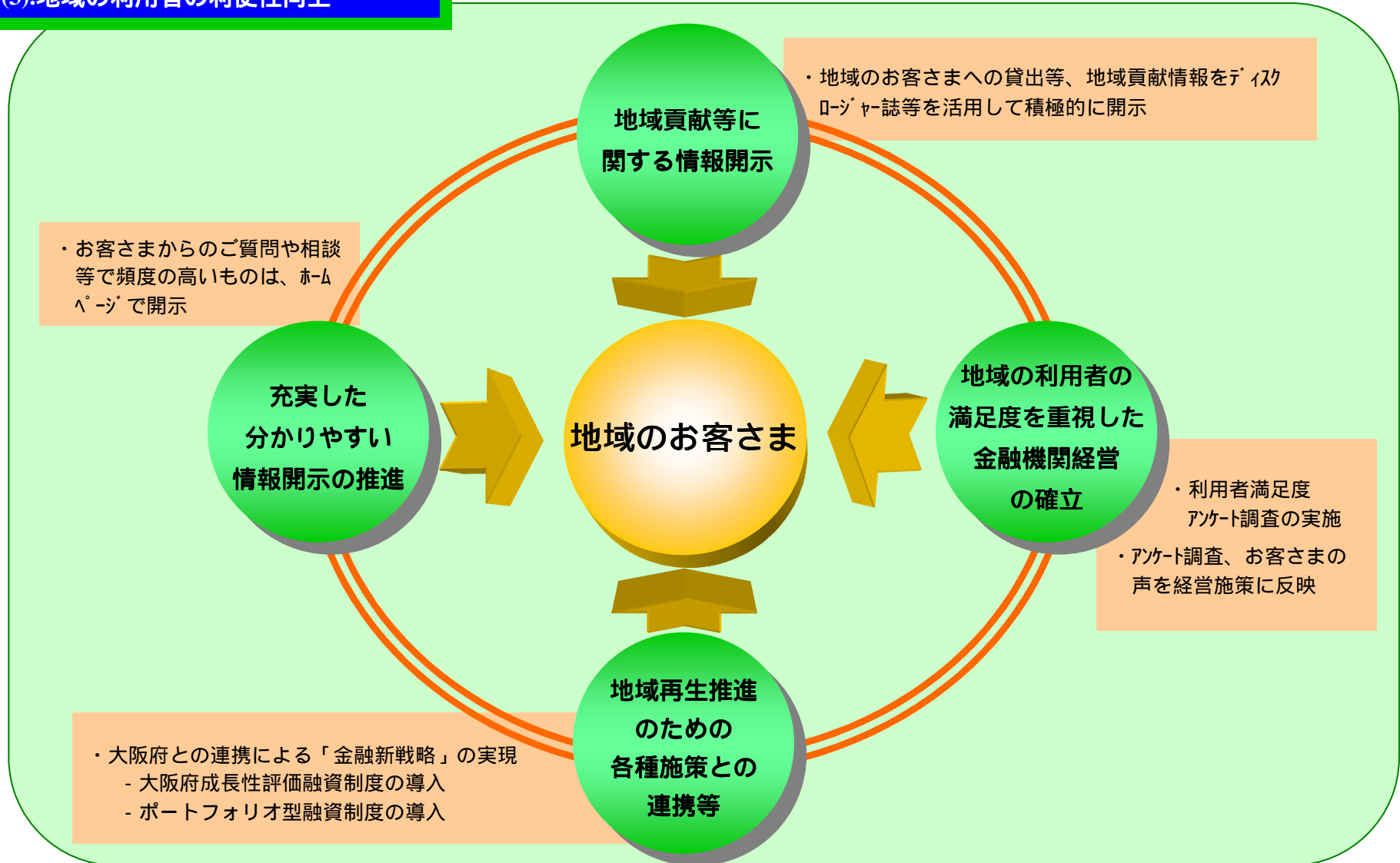
### (2). 経営力の強化



## Ⅱ.「地域密着型金融推進計画」の概要



### (3).地域の利用者の利便性向上



## Ⅲ.「地域密着型金融推進計画」の具体的な取組み

### 1.事業再生・中小企業金融の円滑化

#### 創業・新事業支援機能等の強化

##### 融資審査態勢の強化等

- ・目利きを目的とした集合研修の実施
- ・地銀協主催の研修、通信講座の受講奨励

##### 産学官のさらなる連携強化等

- ・大阪府立大学、大阪TLO(技術移転機関)の活用
- ・中小企業・ベンチャー総合支援センターとの連携

##### 地域におけるベンチャー企業向け業務に係る外部機関等との連携強化等

- ・ベンチャービジネス融資支援制度、近畿大阪ベンチャー育成ファンドを活用した資金支援
- ・日本政策投資銀行、国民生活金融公庫との連携

#### 取引先企業に対する経営相談・支援機能強化

##### 経営相談・支援機能の強化

- ・ビジネスマッチング機能の提供、りそな総合研究所等との連携によるコンサルティング機能の提供
- ・取引先向けサイトによる経営情報提供

##### 要注意先債権等の健全債権化等に向けた取組み強化

<経営改善支援取組み先のランクアップ率30%以上>  
<不良債権比率18年度末4%台後半>

- ・営業店担当者のスキル向上、営業店管理の支援対象先を幅広く選定、外部コンサルティングの活用

##### 健全債権化等の強化に関する実績の公表等

- ・ランクアップ状況、特徴ある取組みについて公表

#### 事業再生に向けた積極的な取組み

##### 事業再生に向けた積極的な取組み

- ・民事再生、私的整理ガイドラインの活用
- ・再生ファンド・イグジットファイナンス・DD Sの活用
- ・中小企業再生支援協議会、RCC等との連携

##### 再生支援実績に関する情報開示の拡充、再生ノウハウ共有化の一層の推進

- ・成功事例、法的整理の活用実績等の再生支援実績や、再生ノウハウの特徴ある取組みについて公表

#### 担保・保証に過度に依存しない融資の推進等

##### 担保・保証に過度に依存しない融資の推進

<スプライングフェード商品実行額(17年度)150億円>

- ・ローンビューの徹底、財務制限条項の活用、信用リスクデータベースの整備充実への取組み
- ・モデルリスク・モデルリスク型のスプライングフェード商品、大阪府制度融資ポートフォリオ型融資の導入
- ・個人事業者向けスプライング商品の投入・活用

##### 中小企業の資金調達手法の多様化等

- ・りそなグループや他金融機関との連携によるソリューションの推進
- ・売掛債権担保融資の商品化

#### 顧客への説明態勢の整備、相談苦情処理機能の強化

##### 顧客への説明態勢の整備

- ・顧客説明マニュアル等の定着化のための研修等の実施

##### 相談苦情処理機能の強化

- ・苦情対応連絡会での再発防止策の検討、営業店への事例還元
- ・苦情発生状況に問題がある営業店の指導強化

#### 人材の育成

##### 企業の将来性・技術力を的確に評価できる能力の向上、経営支援能力の向上

- ・外部専門家を講師に招き経営改善、目利きを目的とした集合研修を実施
- ・地銀協主催の集合研修、通信講座の受講奨励

## Ⅲ.「地域密着型金融推進計画」の具体的な取組み

### 2.経営力の強化

#### リスク管理態勢の充実

##### 自己資本比率算出方法の精緻化への取組み

- ・リスクアセット計算システムのレベルアップとデータ収集のスムーズ化

##### リスク管理の高度化

- ・金利リスク等についての計量化
- ・業務プロセス、内部検証プロセスの再構築
- ・定性的な側面の把握・管理の一層の強化
- ・リスクカテゴリー間の相関関係を考慮したポートフォリオ全体の管理の高度化

##### 情報開示の拡充

- ・定量的・定性的項目の適切な情報開示の拡充

#### 収益管理態勢の整備と収益力の向上

<税引前当期利益 17年度 160億円、18年度 167億円>

##### 信用リスクへの蓄積

- ・精度の高い信用格付制度の構築
- ・自己査定システム等と連携のとれた信用格付システムの構築
- ・分散する信用リスクを統合するシステムの構築

##### 金利設定のための内部基準の整備等

- ・信用コストを反映した取引先別収益表等の営業店に対するツールの提供

#### ガバナンスの強化

##### 財務内容の適正性の確認

- ・内部監査部による監査、監査法人による会計監査に加え、りそなホールディングス宛に報告する有価証券報告書作成用の資料について以下の対応を実施
  - ）資料作成プロセスの規程化
  - ）代表者による記載内容の適切性確認、確認書の提出
  - ）りそなホールディングス内部監査部と連携した、財務報告に係る内部統制状況の監査の実施
- ・ガバナンス強化に対する規律づけとして、積極的な情報開示の実施

#### 法令等遵守態勢の強化

##### 営業店に対する法令等遵守状況の点検強化等

- ・コンプライアンス責任者の研修等によるレベルアップ
- ・りそなグループ行動指針「りそなSTANDARD」を使用しコンプライアンスに関する報告・相談ルールを徹底
- ・全従業員を対象にコンプライアンス意識調査を実施

##### 適切な顧客情報の管理・取扱いの確保

- ・集合研修、各部店での研修の場における情報管理の継続徹底
- ・情報漏洩事案の発生時における責任の明確化と再発防止策の検討と実施
- ・技術的安全管理措置への対応

#### ITの戦略的活用

##### ITの戦略的活用に向けた取組みの推進

- ・営業戦力をサポートする商品・サービス機能向上への活用
- ・営業店及び事務集中センターの事務効率化への活用
- ・偽造カード対応、個人情報保護法等、システムリスク管理強化への活用
- ・バーゼルへの対応を含め、融資管理面ならびにリスク管理の高度化への活用

## Ⅲ.「地域密着型金融推進計画」の具体的な取組み

### 3.地域の利用者の利便性向上

#### 地域貢献等に関する情報開示

##### 地域貢献等に関する情報開示

・地域のお客さまのご預金が地域のためにどのように活かされているか、等の項目も含めた地域貢献の状況を、ディスクロージャー誌、リーフレットの発刊、ホームページへの掲載を通じて情報開示

#### 充実した分かりやすい情報開示の推進

##### 充実した分かりやすい情報開示の推進

・お客さまからの質問や相談等のうち、頻度の高いものについて、回答事例を作成し、ホームページ「こんなときどうする」に掲載

#### 地域の利用者の満足度を重視した金融機関経営の確立

##### お客さまへのアンケートの実施

・お客さまの満足度に関するアンケートを実施し、調査結果を分析し、経営改善に繋げるとともに、ホームページ等において公表

#### 地域再生推進のための各種施策との連携等

##### 大阪府と地域金融機関が官民一体となった「金融新戦略」の実現

- ・中小企業の成長性に重点を置いた「大阪府成長性評価融資制度」の導入
- ・中小企業の収益性に重点を置いた「ポートフォリオ型融資制度」の導入
- ・(財)大阪産業振興機構への人材派遣

### 4.進捗状況の公表

地域密着型金融推進計画については、以上の「事業再生・中小企業金融の円滑化」、「経営力の強化」、「地域の利用者の利便性向上」の3つの柱に沿って、その実績・成果、目標に対する進捗状況等を、半年毎に公表

りそなホールディングス コーポレートコミュニケーション部と連携し、記者クラブへの資料配布、当社ホームページへの掲載、ディスクロージャー誌への掲載・配布等を通じて情報を開示